

消防本部における新型コロナウイルス感染症対策について



金子 進
議員



コロナ禍における救急出動件数およびコロナ患者の搬送件数、搬送困難症例についてならびに救急隊員および消防職員の感染防止対策について伺います。

○消防長

救急出動件数は、平成30年は1万2131件、令和元年は1万2683件、令和2年は1万1315件です。コロナ患者の搬送件数、搬送状況は、発熱など新型コロナウイルスの疑い例も含めた救急出動件数は、令和2年中が110件、うち陽性の件数は、搬送後に判明した事案も含め24件です。令和3年は、8月末の速報値で疑い例を含め救急出動件数は208件、うち陽性の件数は、搬送後に判明した事案を含め161件です。搬送困難事案については、救急隊の現場到着から搬送を始めるまでの時間が30分以上を要したものを搬送困難事案としますと令和

2年は51件、令和3年は8月末の速報値で65件です。救急隊員の感染防止については、臨時交付金を活用して、陰圧式患者搬送用資機材を購入し、傷病者をストレッチャー上で筒状のビニールシートで覆い、隔離し、同乗者や救急隊員への感染のリスクを下げつつ、救急活動を行うことが可能になりました。消防職員の感染防止対策は、ほぼ全ての職員がワクチン接種を終え、市職員同様に3密の回避や換気、庁舎、車両の定期消毒などや各庁舎で可能な限り分散仮眠に取り組んでいます。

春日部市観光協会と連携した観光事業の推進について



中川 朗
議員



観光が地域にもたらす効果は、観光消費額による経済効果にとどまらず、旅行がもたらす感動や満足感などを通じて、多くの方々にもちの魅力を感じてもらえることにあると思います。そのためには、市と観光協会が緊密に連携をし、観光客に選ばれるまちづく

くりを継続的に進めていくことが必要不可欠です。そこで以下伺います。

- ① 本年4月に春日部市観光協会が一般社団法人として新たなスタートを切ったところですが、観光協会の法人化により期待される効果として、どのようなものがあるか。
- ② 春日部の新しい観光地づくりに向け、どのような考え方を持って進めていくのか。

○環境経済部長

① 職員体制が3名の専従職員で構成されたことで、今まで以上に機動力を発揮し、観光ニーズに対応した事業を展開できる組織となりました。また、事務所がぶらっとかすかべ内に設置されたことで来館者の生の声を聞くことができ、既存事業の改善や新たな取組へつなげる環境になりました。② 魅力的な観光地を形成していくために重要なことは、来訪者の実態把握や施策の有効性の検証など、的確に現状を把握し、その結果を施策に反映させた上で、観光プロモーションを継続的に実施していくことだと考えています。

このほか

○子育て世帯に対する支援策について

人生100年時代になっても十分楽しめるスポーツ施設を



河井 美久
議員



子どもからお年寄りまでが楽しめる生涯スポーツ施設について、これまで質問してきましたが、既存の旧谷原中学校を有効に活用し、近隣の市町村にはない素晴らしい施設の計画が策定されたことは大変喜ばしいことです。

体育施設の整備事業は、長期にわたるものであることは理解していますが、着実に大きな一歩となったのではないかと思います。

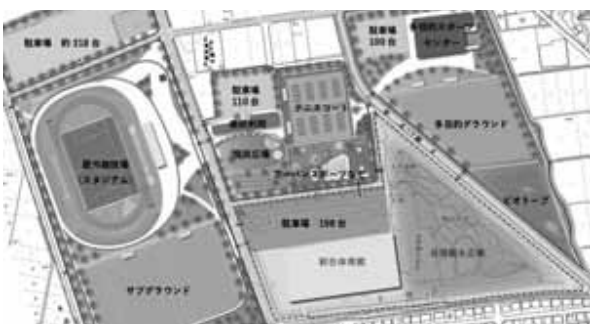
また、総合体育施設整備によって、将来的にどのようなスポーツを楽しめる施設になるのか、大変楽しみで、興味深いところです。

そこで、ウイング・ハット春日部周辺の整備計画の事業化には、事業用地の取得が大前提になると思いますが、今後、施設整備に向けての予定を伺います。

○社会教育部長
今後、事業の実現に向け、

引き続き計画地の用地取得に努めるとともに、法令上の制限を整理し、関係機関との協議を進めるほか、導入施設の配置における、設備の仕様など、比較・検討を進めていく予定です。

ウイング・ハット春日部周辺がスポーツ・健康づくりの場として多くの人々に愛着を持って利用され、誰もが集い、親しみ、交流が生まれる持続可能な生涯スポーツの推進拠点となるよう、引き続き、事業化に向けて必要な取り組みを進めていきたいと考えています。



春日部市総合体育施設整備基本計画図(イメージ)

放課後児童クラブは 常勤支援員の複数配置を



並木 敏恵
議員

放課後児童クラブは児童保育は、子どもの遊びと生活、育ちを丸ごと支えるところでなければなりません。その要となつている支援員の配置について、トライの雇用形態と勤務時間について伺います。

また、県のガイドラインでは、開設時間の全てを勤務する常勤支援員を複数配置するとしています。市の現状では保育の質が確保できないと思うが、市の考えを伺います。

○こども未来部長

トライグループでは、正午から勤務する支援員50人と放課後から勤務する支援員56人の計106人を雇用しています。全員が有期契約で、月給制雇用が48人で月の労働時間は150時間、時給制雇用が58人で1日平均4時間勤務です。各クラブの統括管理業務を行うため、正午から勤務する支援員を学校単位におおむね2人ずつ配置しています。

また、支援員のほかに補助員は全体で68人、事務局には支援員資格を持つ職員が3人おり、クラブの緊急時には応援に向く体制を整えています。

市が指定管理者に求めている開室時間は放課後から午後7時まで、1日につき3時間以上を原則としています。児童が安心して活動でき、安全に過ごすためには、必要な知識と技能を持った支援員が1日を通じて支援を行う必要があり、放課後の勤務時間は3時間30分以上、週5日以上勤務することが適切であると考えています。



放課後児童クラブの様子 (イメージ)

新型コロナ対応、 市長の姿勢を問う



古沢 耕作
議員

新型コロナウイルスのワクチン接種事業に関して、8月に大幅に減らされた国からのワクチン供給量が9月に入ってからかなり回復しました。しかし、まだ接種された方よりも2回の接種を終えていない方のほうが大勢いらっしゃるの現状です。その中で市長は「ワクチン接種は順調に進んでいます」と何度も発言、また発信されています。そのことを踏まえ、市長に伺います。

①他市と比べてどうか、接種数の実績を誇るよりも、まだ接種を受けられていない皆さまの心に寄り添った情報発信を行うべきと私は思いますが、市長の考えはいかがでしょうか。

②ワクチン接種は1人2回でワンセットなので、確保した量については、現在の回数表記ではなく、「何人分」確保できたという発信のほうが市民の皆さまに分かりやすく、親切だと思いますが、いかがでしょうか。

①市民の皆さまへの情報発信については、正しい情報を分かりやすく、そして速やかに発信することが重要であると考えており、そのことを職員にも指示してきました。私も自らさまざまなツールを活用して、直接市民の皆さまに発信してきたところです。

②1人2回の接種であり、人数で表記をすると誤解を招く可能性があることから、数量としての表記としています。

学校運営について



石川 友和
議員

未来を担う子どもたちにとって重要な場所である、学校。その学校運営について以下伺います。①ある学校では、先生が毎朝、昇降口で検温チェックをするが、ある学校では検温チェックをしないという市民から相談を受けたが、学校によって違いがある

感染対策について②2学期当初に緊急事態宣言発出に伴い急ぎ行われた分散登校は、どのような様子だったのか、特に大きな混乱等はなく行うことができたのか③緊急事態宣言は9月30日まで延長されたが、市内の学校は分散登校の延長ではなく、通常登校を選択した理由について

○学務指導担当部長

①学校の規模や職員の数も限られるため、健康観察記録簿の提出を基本とし、登校後に教室で担任が健康観察をして確認しています②登校した子どもたちは、校庭で距離を置いて元気に遊んだり、大好きな給食を食べたりと、教室に子どもたちの一生懸命な姿と明るい笑顔が戻ってきました。また、大きな混乱もなく、順調にスタートしたところで③主な理由は、子どもたちの心身に与える影響から、可能な限り早く教育活動を通常実施することが望ましいこと、保護者にとっても負担があること、児童生徒の新規感染者数は減少傾向にあること、近隣でも同様の対応が多いことなどです。現在学校では引き続き感染症対策を十分講じて教育活動を前に進めています。

鉄道高架事業の 進捗状況について



山口 剛一
議員

春日部駅東口の様子はすっかり変わってきました。鉄道高架事業の始まりと進捗を目で見て、日々実感している市民の皆さまも多いかと思いますが、全体から見た事業の進捗度合いを伺います。

併せて、中心市街地の利便性向上を妨げている鉄道高架事業期間の東西通行に関する検討状況についても伺います。また、鉄道高架工事期間中の東口駅前の仮囲いの活用について伺います。

○鉄道高架担当部長

事業の進捗状況について、事業主体である県によれば、仮の線路を設置する工事を行うため、現在、伊勢崎線北春日部駅方面の用地交渉に注力しており、今年8月末時点で面積ベースで伊勢崎線北春日部駅方面のエリアでは約7割、事業全体では約4割のご協力をいただいているとのことです。

東西通行の検討状況については、現在、本格的な鉄道の工事に向けた詳細な設計を行っており、その中で工事の東西通行についても検討がされているとのことです。

工事に伴い設置される仮囲いについては、駅周辺の活気が失われないう、情報発信のツールとしての活用を検討しています。工事の案内や完成後のイメージを表示するだけでなく、本市のPRや地元のアイデアを取り入れるなどの取り組みができるよう、県や東武鉄道に強く働きかけていきます。

春日部市障がい者 施策について



鈴木 一利
議員

障がい者施策の中で、障害者優先調達推進法では地方公共団体は障害者就労施設等からの受注の機会増大を図るための措置を講ずるよう努めることとされています。そこで、①本市での進捗状況②民間事業所との連携の一つとして民間の障害者就労支援施設等へ

の共同受注ネットワーク等の設立について伺います。

また、市内には多くの障がい者グループホームが事業展開されており、昨年来のコロナ禍ではグループホームの特性上、感染者が発生した場合の対応は非常に重要です。そこで、③発生した場合の対応について市の見解を伺います。

○福祉部長

①昨年度の優先調達件数は2件と実績が伸びていないため、庁内各課や関係機関、加えて民間企業や市民の皆さまにも広く周知を図っています②代表受付窓口をリサイクルショップとして、さらなる推進を図りたいと考えています。また、本市所管の5施設以外の施設とのネットワークづくりも視野に入れながら、事業展開を図っていきたくと考えています③手続上、県からの指示に従って施設管理者が対応することになりますが、本市に相談が寄せられた場合は、速やかに関係部署と情報を共有し、感染症拡大防止に努めるとともに、適切に関係機関への引き継ぎを行っています。

このほか

○学校校則の見直しを含めた今後について

新型コロナウイルス感染症 対策特別委員会の設置

新型コロナウイルス感染症拡大による市民生活および地域経済への影響および対策に関する調査・検証を目的として、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会を設置しました。当委員会では、新型コロナウイルス感染症対策に関する情報の収集および提供、新型コロナウイルス感染症対策に関する市執行部への要請および提言などを調査項目として伺います。委員の構成は、次のとおりです。

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 小久保 博史 |
| 副委員長 | 松本 浩一 |
| 委員 | 卯月 武彦 |
| 委員 | 石川 友和 |
| 委員 | 金子 進 |
| 委員 | 鬼丸 裕史 |
| 委員 | 鈴木 一利 |
| 委員 | 荒木 洋美 |
| 委員 | 栄 寛美 |

お知らせ

○議員の辞職

令和3年7月29日付で、岩谷一弘議員から辞職願が提出され、同日付で議長により許可されました。

今定例会の開催状況

- 8月23日 ○開会
- 議案第49号から議案第69号までの上程・説明
- 8月27・30・31・9月1日 ○議案に対する質疑
- 議案および請願の各常任委員会付託
- 9月3・6日 ○建設委員会・教育環境委員会
- 9月7・8日 ○総務委員会・厚生福祉委員会
- 9月8日 ○議会改革検討特別委員会
- 9月10・13・15日 ○一般質問
- 9月16日 ○一般質問
- 議案第70号の上程・説明・質疑および各常任委員会付託
- 総務委員会・建設委員会・教育環境委員会
- 9月21日 ○各常任委員長報告とそれに対する質疑
- 議案および請願に対する討論・採決
- 特別委員会の設置について
- 議員提出議案の上程・説明・質疑・討論・採決
- 議会改革検討特別委員長中間報告とそれに対する質疑
- 閉会

議会の傍聴について（お願い）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、議会の本会議および委員会の傍聴につきましては、当面の間、できる限りお控えいただくよう、お願いしております。
本会議の審議の様子は、インターネット議会中継でもご覧いただくことができますので、ぜひご利用ください。

議会中継は市議会ホームページからどうぞ



なお、議場で傍聴される場合は、次の点にご協力をお願いいたします。

- ・受付にて体温を測定し、37.5度以上の発熱がある場合は傍聴できません
- ・マスクの着用
- ・手指消毒液の使用（傍聴受付に用意しています）
- ・他の傍聴人との距離を空けて着席



皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。

閉会中の委員会活動

▽議会運営委員会

7月21日

・令和3年第2回（7月）臨時会の運営について

8月18日

・令和3年9月定例会の運営について

▽議会改革検討特別委員会

7月30日

・議員定数について
・議会基本条例に関するルール集について

8月18日

・常任委員会の定数について
・議会基本条例に関するルール集について

・災害対応について

・休会日の表記方法について

9月30日

・常任委員会の定数について
・災害対応について

・休会日の表記方法について
・市議会における押印の見直しについて

▽新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

9月30日

・本委員会の進め方について

▽広報広聴委員会

9月27日

・議会だより第65号について

10月4日

・議会だより第65号について

▽図書室運営委員会

10月4日

・図書購入の申込みについて

編集後記

9月定例会では、条例の改正や決算認定などの議案22件、請願4件のほか、議員提出議案8件が審議され、さまざまな議論や意見が多く出されました。また、市議会としても、新型コロナウイルス感染症拡大による市民生活および地域経済への影響および対策に関する調査・検証を目的とし、9名の委員で新型コロナウイルス感染症対策特別委員会を設置しました。市議会はこれからも市民の生命と財産を守るため、さらに尽力してまいります。

春日部市は今、大きな岐路にあるかと思えます。念願の春日部駅付近連続立体交差事業の進捗や新本庁舎建設、ほかにも多くの事業を手掛けています。そしてこの新型コロナウイルス感染症対策を常に意識した生活において、これまで以上に議決機関・議事機関の市議会での議論が重要に

次の定例会は
11月26日（金）
開会予定です



〒344-8577
埼玉県春日部市中央六丁目2番地
春日部市議会
Tel 048-736-1111（代表）
内線3116

なります。そしてその議論を市民の皆さまへ広報していくのが「かすかべ議会だより」です。これからもよりわかりやすく、より身近な市議会を心掛けていく所存です。

広報広聴委員会

委員長 永田 飛鳳
副委員長 坂巻 勝則
委員 榛野 博
委員 今尾 安徳
委員 金子 進
委員 山口 剛一
委員 木村 圭一
委員 鈴木 一利
オブザーバー
議長 栗原 信司
副議長 水沼日出夫